

「掲載分」

昨日放送されましたテレビ朝日のスーパーJ チャンネルの中間貯蔵施設についてご視聴頂きありがとうございました。安全と土地の使用補償については放送されませんでした。これは引き続き広報活動を行ってまいりたいと思っております。安全についてですが、環境省の輸送統括管理センターが、輸送トラックがコースから外れたら正しいコースに戻すと説明していました。しかし、このシステムはトラックの暴走スピードの監視はできませんので連なった暴走トラックの改善を環境省に対して継続して求めております。土地の使用補償については憲法 29 条 3 項の正当な補償に反する不公平な補償は先日フェイスブックで掲載させて頂きました通りです。渡辺宜嗣ニュースキャスターは番組全体で（福島の復興の為に）苦渋の選択で受け入れざるを得なかった中間貯蔵施設の一番の問題は最終処分場はどこになるのか。いつまでここにあるのか。時間の経過とともに国民の意識が希薄になってくる中で、先祖伝来の土地を提供したその思いは国の人事異動や定年でどんどん入れ替わってしまう。住民や地権者の思いをだれが繋いで捉えてくれるのかと思っている。そして最後に問題はずっとここ（中間貯蔵施設）にあることになりはしないか！その思いを国民がどう分かち合っていくのか、大きな問題になっていると思います。と結びました。原発の問題は放射能のゴミの問題です。原発の寿命は 40 年で、延長しても 60 年ですが、放射能のゴミの後始末「管理」は将来の人達に長い長い期間委ねざるを得ません。本当にこれでいいのかも含めて国民がみんなで考えて行かなければいけないと思います。なお、このテレビ放送内容はネットニューステレビ朝日の AbemaTV でも流されるとのことです。

「以下掲載テレビの写真」



